



<施設の概要>
 所在地：郡山市安積町日出山字北千保19番8号
 延床面積：23,393.02㎡
 規模・構造：鉄骨造(一部鉄筋コンクリート造)
 地下1階地上4階
 建築主：福島県
 設計・監理：榎北川原温建築都市研究所
 施工：間・陰山・八光 特定建設工事共同企業体
 旭日・エディソン・池添 特定建

設工事共同企業体
 高柳電設・エディソン 特定建
 設工事共同企業体
 齊久・石田・山元 特定建設工
 事共同企業体
 高砂・栗原・内藤 特定建設工
 事共同企業体
 三菱電機株式会社
 竣工：平成10年9月

斬新な建築デザインとの 一体化を図った照明設備

Lighting equipment is integrated into a novel architecture design

エリアごとに特色のある 照明空間を実現

Respective areas are illuminated with their distinctive features

本施設は、南東北のハブ都市として成長し続けている郡山の副都心に誕生した新しい産業・文化の創造・発信スペースです。約5500㎡の多目的展示ホールをはじめ、国際会議にも対応可能な約1000㎡のコンベンションホール、約300㎡の屋外展示場、その他、様々なサイズの会議室10室を配置し、建物全体を覆う楕円形の大屋根の外観から連想される「パレット」の上で様々な色が生み出されるように、人、モノ、情報の交流を通じ、様々な情報が全国、世界に向け発信されていくことが期待されています。

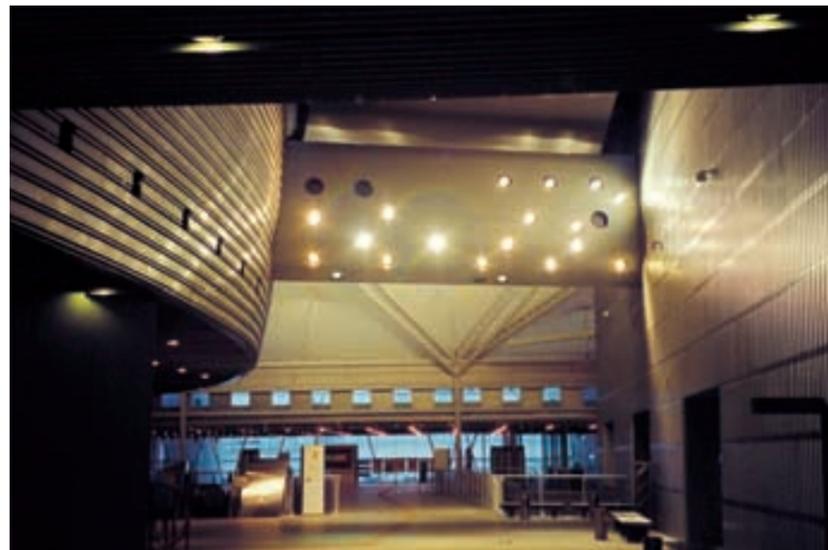
照明設備は、パレット(大屋根)に代表される斬新な建築デザインにふさわしい新しい照明手法が随所に施され、特にアトリウムロビー、ホワイエ、ペDESTリアンデッキ等の照明はそれぞれの場所の役割を考慮しながら、施設独特の雰囲気づくりに成功しています。

アトリウムロビーは吹抜部分に存在する筒状の建築物に、ランダムに照明器具を配置し、星の輝きをイメージさせる照明空間づくりに成功しています。ホワイエは、高い天井と大屋根からのやさしい光に包まれる建築デザインとの一体化を図りながら、アップライトの設置で天井の高さや空間の開放感を生かしています。また、ペDESTリアンデッキの照明は、施設への期待感を感じさせる落ち着きと華やぎのある照明設備となっています。

照明コンセプト

Lighting design concept

各エリアの役割を考慮した十分な照明効果を確保しながら、特徴ある建築デザインとの一体化を図った照明設計



アトリウムロビー 筒状の建築物に、照明器具をランダムに配置し、「星の輝き」をイメージさせる Atrium



ペDESTリアンデッキ-1(ライトアップ) Pedestrian deck (lighted up) アップライトにより、幻想的に浮び上がる



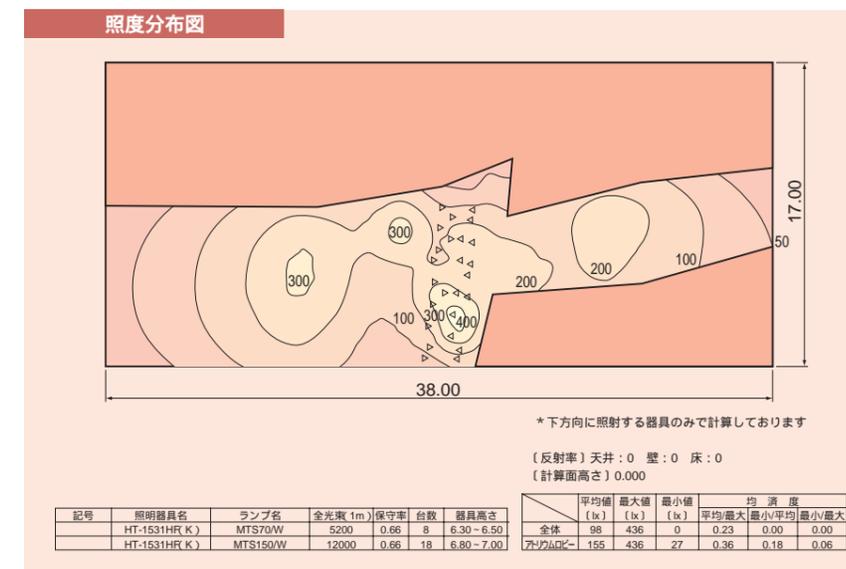
ペDESTリアンデッキ-2(通路) Pedestrian deck: Passageway フットライトとポイント照明によるアクセント効果



屋外展示場 建築意匠にあわせた器具レイアウト。平均照度 = 300Lx確保 Outdoor exhibition space



ホワイエ Foyer ハロゲンランプによる暖かみのある雰囲気創り。アップライトによる吹き抜け空間の強調



主要照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
アトリウムロビー	HID投光器	HT-1531MF (K)	8	MTS70 / W
	HID投光器	HT-1531MF (K)	18	MTS150 / W
ホワイエ	ハロゲン投光器(床面用)	QT-5031N	44	ハロゲン500W
	ハロゲン投光器(吹抜用)	QT-5031N	22	ハロゲン500W
ペDESTリアンデッキ	安定期内蔵投光器	MT-2591N	20	M250L-J / BH
	フットライト	IB-05010 (S)	-	ハロゲン50W